

# 消化器検診 Newsletter

[日本消化器がん検診学会関東甲信越支部機関紙]

No.103

発行所: 日本消化器がん検診学会  
関東甲信越支部  
〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-9-2  
東京都がん検診センター  
消化器内科  
TEL/042-321-0711  
E-mail:kantou@jsjgs-kanto.jp

## 関東甲信越支部内視鏡研修委員会開設の ごあいさつ

### 内視鏡研修委員会の副委員長を拝命して

長野県立須坂病院

赤松 泰次

本年度から対策型胃検診に、従来の胃X線に加えて内視鏡による一次検診が認められるようになりました。内視鏡による胃検診については古くから多くの試みが行われてきましたが、胃癌死亡率減少の十分なエビデンスがないとの理由で、これまで対策型検診は長年にわたって胃X線を中心に行われてきました。しかし、数年前より新潟市と一部の都市で開始された内視鏡による対策型検診によって胃癌死亡率の減少が初めて証明され、今回の改変に繋がりました。一般の診療現場や任意型個別検診では、胃のスクリーニング検査は近年内視鏡を用いることが圧倒的に多くなっていますが、その理由として①X線検査に比べて小病変の存在診断能力に優れること、②その場で生検組織を採取して組織学的検査が可能、といったメリットがあるからだと考えます。また被検者においても、「手術すれば助かる胃癌の発見」から「内視鏡治療で治癒できるような初期癌での発見」といった、胃検診に期待するレベルが高くなってきています。このような理由で、対策型胃検診に内視鏡が追加されたことは大変好ましいことだと思います。

しかし、内視鏡検診の導入に伴う新たな課題として、マンパワーと精度管理の問題があります。マンパワーの問題として、例えば長野県医師会が中心になって行っている対策型胃検診は年間約6万人が受診していますが、そのうち1/3が内視鏡検診を希望すると、計算上約2万件の内視鏡検査の需要が増えることになります。これを現在の長野県の医療資源に照らし合わせると、少な

くとも消化器内視鏡を専門とする医師だけで対応することはとても不可能です。一方、内視鏡の capacityを増やすために、消化器内視鏡の経験が少ない医師にも内視鏡検診に参加して頂くとなると、精度管理が大きな問題になると考えられます。

このようなジレンマの中で、今回の対策型検診の改訂に伴う混乱を最小限に留め、今後内視鏡検診を定着させていくために発足したのが内視鏡研修委員会です。小生はこの委員会の副委員長を拝命しましたので、成澤委員長をはじめ他の委員の方々とともに新しい対策型検診のあり方を模索してゆきたいと考えています。皆様のご支援をよろしくお願い致します。

## 目 次

### 「関東甲信越支部内視鏡研修委員会開設のごあいさつ」

赤松泰次（副委員長）…………… 1

水谷勝（庶務）…………… 3

### 第76回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会の告知

地方会開催案内…………… 4

地方会会長挨拶…………… 5

ベストイメージングコンテスト…………… 6

### 第77回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会の告知

地方会開催案内…………… 7

地方会会長挨拶…………… 8

### 日本消化器がん検診学会関東甲信越支部

#### 超音波研修委員会

第5回千葉セミナー開催案内…………… 9

会長挨拶…………… 10

編集後記 山口和也…………… 12

## 会員の皆様方へ

東京都がん検診センター  
消化器内科  
水谷 勝

青葉の候、皆様方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

内視鏡研修委員会の庶務を拝命いたしました水谷勝と申します。

ご存知のとおり、内視鏡検診が胃がん死亡率減少効果を示す相応な証拠のある検診方法であることが報告されました。

しかし実際に検診を行うに当たっては、検査医確保の問題、検診対象者集約の問題、偶発症の問題、精度管理の問題など、解決すべき多くの壁が立ちはだかっております。

委員長成澤先生、副委員長赤松先生のもと、甚だ微力ではありますが、お役に立てるよう精進して参りたいと存じます。

今後ともご指導・ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。



## 第76回 日本消化器がん検診学会 関東甲信越支部地方会 開催のご案内

■会 期：2016年 8 月20日(土)

■会 場：朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター）

新潟県新潟市中央区万代島 6 番 1 号

■会 長：成澤 林太郎（新潟県立がんセンター新潟病院内科 臨床部長

がん予防総合センター センター長）

■テーマ：消化器がん検診の新たな展開

■プログラム：特別講演、教育講演、シンポジウム、一般演題ほか

■問い合わせ先：第76回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会事務局

〒951-8566 新潟市中央区川岸町 2 丁目15番地 3

新潟県立がんセンター新潟病院 内科 塩路和彦

TEL 025-266-5111（代）

FAX 025-233-3849（医局直通）

E-mail：kenshin@niigata-cc.jp

ホームページ：http://www.niigata-cc.jp/jsgcs-kkse76/



## 第76回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会 開催にあたって



テーマ：消化器がん検診の新たな展開

会長 成澤 林太郎

(新潟県立がんセンター新潟病院 内科)

この度、第76回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会を担当させていただくにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本会は平成28年 8 月20日(土)に、『消化器がん検診の新たな展開』をテーマに新潟市のコンベンションセンターである「朱鷺メッセ」で開催させていただきます。

ご存知のように、平成27年 9 月の厚生労働省の「がん検診のあり方に関する検討会中間報告書」を踏まえ、「がん予防重点健康教育及び検診実施のための指針」が改正され、平成27年12月28日に平成28年度から対策型の胃がん検診の検診方法のひとつとして内視鏡検査も認めるとの通達が出されました。それにより、本年 4 月から内視鏡による胃がん検診が可能となります。そのような時期の本会の開催となりましたので、『消化器がん検診の新たな展開』というテーマにさせていただきました。胃がん検診だけではなく、大腸がん検診においても、大腸内視鏡やCT colonoscopyによる検診などの新しい展開も見えてきています。

会場の「朱鷺メッセ」という名称は、本県の佐渡に生息する「朱鷺(とき)」に由来するものです。朱鷺はその学名をNipponia nipponと言い、まさに日本を象徴する鳥です。乱獲などで日本の空から一時その姿を消しましたが、関係者のたゆまぬ努力で、優雅に舞うその姿を再び見ることができるようになりました。

そのような謂われを持つ会場で開催される本会を通じ、会員の皆様に検診の新たな展開の確かな方向性をつかんでいただくとともに、本会の開催が新たな検診方法を大きく羽ばたかせるそのきっかけになることを望む次第です。

最後に、本支部のますますの発展と本支部会員の皆様のますますのご活躍とご健勝を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

## ザ・ベスト・イメージング・コンテスト応募要項 (The Best Imaging Contest)

### 第76回関東甲信越支部学術集会（第18回超音波研修委員会学術集会）

会 期 : 平成28年 8 月20日(土)  
会 場 : 朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター）  
新潟県新潟市中央区万代島6番地1  
大会長 : 成澤 林太郎（新潟県立がんセンター新潟病院）

第76回日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会学術集会（第18回超音波部会学術集会）において「第9回ザ・ベスト・イメージング・コンテスト」を開催いたします。

記録された超音波写真には検査担当者の思いが込められています。日常業務で撮影された自慢のベストショットを応募してください。応募していただいた超音波写真を、応募者・所属施設を伏せて会場においてスライドショーで閲覧し、会場参加者の投票でベストイメージングを選出します。

応募資格は医師・技師を問いません。また応募者のプレゼンテーションはありませんので、学術集会に参加できない方でも応募して頂いて結構です。

特に、出張検診で活躍されている方々の汎用機で撮影された症例のご応募お待ちしております。

## 応募要項

### 【超音波画像】

Bモード（カラー Doppler・パワード Doppler可） 1枚（ただし2分割使用可）  
超音波画像に文字、記号等はいれないでください。

### 【領域】

上腹部（肝臓、胆道、膵臓、脾臓、腎臓、消化管、腹部大動脈、その他）

### 【応募方法】

E-mailで件名を『ベストイメージング(応募者名)』とし、氏名・連絡先住所を明記の上、添付ファイル（power point）で応募してください。

〈スライド1枚目〉

氏名、所属施設名、超音波機種名、周波数、患者（検診者）の年代・性別、診断名、コメント（術者の一言）

〈スライド2枚目〉 超音波画像

### 【応募先】

横浜ソーワクリニック・横浜総合健診センター

担当：中村 稔 E-mail：minoru.nakamura@sowa.or.jp

### 【締め切り】

平成28年7月30日(土)（必着）

**\*応募は一人1点のみとさせていただきます。**



## 第77回 日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会 開催のご案内

■会 期：平成29年 8 月26日(土)

■会 場：ワークピア横浜

神奈川県横浜市中区山下町24-1

■会 長：鈴木 康元

松島病院大腸肛門病センター松島クリニック 診療部長

■問い合わせ先：第77回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会事務局

〒220-0045 神奈川県横浜市西区戸部本町 3 -138

連絡先（電話）045-241-7311

松島クリニック医局（城崎）

E-mail：jsgcs\_kanto\_77th@matsushima-hp.or.jp

ホームページ：http://jsgcs-kanto-77th.wix.com/homepage

### 消化管の診断に

処方せん医薬品

X線造影剤（硫酸バリウム製剤）

◇パウダー製剤

|                   |          |
|-------------------|----------|
| 硫酸バリウム散 99.1%「共成」 | バリトップHD  |
| ネオバルギンEHD         | バリブライトP  |
| ネオバルギンUHD         | バリブライトCL |
| ネオバルギンHD          | バリコンクMX  |
|                   | バリブライトLV |

◇ゾル製剤

|           |             |
|-----------|-------------|
| バムスターS200 | バリトップゾル150  |
| バリトップ120  | バリブライトゾル180 |

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

※注意—医師等の処方せんにより使用すること

発売元 **KAIGEN** カイゲンファーマ株式会社

大阪市中央区道修町二丁目5番14号（資料請求先 商品企画部）  
http://www.kaigen-pharma.co.jp

※平成25年4月より株式会社カイゲンは  
カイゲンファーマ株式会社に社名変更  
いたしました。



## 第77回 日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会 会長挨拶



テーマ：消化器がん検診に若い力を

会長 鈴木 康元  
(松島大腸肛門病センター  
松島クリニック 診療部長)

この度、第77回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会の会長を拝命し、2017年8月26日(土)にワークピア横浜（横浜市中区山下町）にて開催させていただくことになりました。伝統ある本会のお世話をさせて頂くことになり、大変光栄に存じますとともに学会会員の皆様方にどれだけ貢献できるか、その責任の大きさを痛感しております。

日本人の死因順位の第1位は悪性新生物ですが、中でも本会が関わる大腸癌、胃癌、膵臓癌、肝臓癌の占める割合は高く、本会会員の一層の努力が求められています。しかし、若い方々からは「がん検診は難しい」と敬遠されがちであることから、今回はこの問題を克服すべくテーマを『消化器がん検診に若い力を！』としました。これからのがん検診の担い手である若い方々にがん検診の面白さを分かっていただけるように、教育講演、主題、セミナーのすべてにおいて初心者の方にも「がん検診」の魅力が伝わるような内容にしたいと考えております。

開催地であります横浜は、安政6年（1859）の開港以来国際貿易港として発展した都市で、とくに今回の会場となるワークピア横浜は横浜港に面する山下公園や横浜中華街からも至近距離にあります。「古さと新しさ」が混在する魅力ある港町横浜を是非この機会にご堪能いただければと思います。

多くの皆様のご支援とご参加を心よりお願い申し上げます。



日本消化器がん検診学会 関東甲信越支部 超音波研修委員会

## 第 5 回 千葉セミナー

日時：2016 年 7 月 9 日（土）（受付 12 時～）

会場：千葉市民会館（小ホール）

大会長：山口和也（ちば県民保健予防財団総合健診センター）

参加費：日本消化器がん検診学会会員：1500 円／非会員：2500 円（事前登録不要）

超音波検査士資格更新指定（出席 5 単位）

### プログラム

12:00 受付

12:30 開会の挨拶 山口和也（ちば県民保健予防財団）

12:35～13:35

メーカー情報提供

- ・ GE ヘルスケア・ジャパン株式会社
- ・ 株式会社日立製作所
- ・ 東芝メディカルシステムズ株式会社

座長/是永圭子（国立国際医療センター国府台病院）

13:45～14:45 教育講演

『腹部超音波検査』

－病変を見逃さない工夫と所見のとらえ方－

講師/杉浦信之（国立病院機構千葉医療センター）

座長/山口和也（ちば県民保健予防財団）

15:00～16:30 シンポジウム

『検診施設と精密検査施設との連携』

講師

杉田清香（海上ビル診療所）

合木祐美子（新赤坂クリニック）

村上和広（小豆嶋胃腸科内科クリニック）

大石武彦（取手北相馬保健医療センター医師会病院）

木村友子（ちば県民保健予防財団）

座長/関根智紀（国保旭中央病院）

山口和也（ちば県民保健予防財団）

16:30 閉会の挨拶

### ◆ 機器展示 ◆

12:00～17:00

- ・ GE ヘルスケア・ジャパン株式会社
- ・ 株式会社日立製作所
- ・ 東芝メディカルシステムズ株式会社

◆ 会場が寒い場合があります。薄手の上着をお持ちになることをお勧めいたします。

### ◆ アクセス ◆

千葉市民会館

〒260-0017

千葉市中央区要町 1-1

TEL：043-224-2431

JR 千葉駅より徒歩 7 分



### ◆ 問い合わせ先 ◆

【大会長：山口和也】

[ka-yamaguchi@kenko-chiba.or.jp](mailto:ka-yamaguchi@kenko-chiba.or.jp)

主催：日本消化器がん検診学会関東甲信越支部超音波研修委員会

後援：日本超音波検査学会

## 日本消化器がん検診学会関東甲信越支部超音波研修委員会 第5回 千葉セミナー会長挨拶

会長 山口 和也

(公益財団法人 ちば県民保健予防財団  
総合健診センター)

この度、日本消化器がん検診学会関東甲信越支部超音波研修委員会第5回千葉セミナーの会長を拝命し、2016年7月9日(土)に千葉市民会館(千葉市中央区)にて開催させていただくことになりました。

千葉セミナーの発足は2010年日本消化器関連学会週間の際、竹原靖明先生と若杉聡先生との、「千葉の超音波技師教育のために、腹部超音波検診のセミナーを立ち上げよう。」という話し合いに始まります。千葉県は地理的に広く、技師さんたちが、超音波の勉強をしたくとも、なかなか物理的、経済的に学会や研究会に参加できない現実がありましたので、少しでも助けになれば良いとの思いであったと、うかがいました。

千葉県においては、国保旭中央病院の関根智紀技師、成田赤十字病院の長谷川雄一技師、浅野幸宏技師、小張総合病院の中野英貴技師が、千葉エコー研究会を立ち上げ、運営に努力されてきました。

彼らと私達が若杉聡先生のもとに集まり、千葉セミナーを開始し、毎年開催することができました。第5回の今回から、若杉先生の転勤に伴い、千葉セミナーの運営を私どもで担当させていただきます。

多くの方の気持ちが集まったこの千葉セミナーで技師の皆様に勉強していただきたいと思います。杉浦信之先生に、教育講演をお願いいたしました。シンポジウムとして「検診施設と精密検査施設との連携」をテーマに企画しました。検診施設の技師のためになるセミナーにしたいと思います。千葉県でも膵臓癌、肝臓癌で亡くなる方が多くいらっしゃいますので、治療可能な内に発見し、膵臓癌、肝臓癌で亡くなる方を減らすことを目標としています。今よりも、もっともっと多くの方に、腹部超音波検査を受けていただく必要があると思っています。みんなで力を合わせて取り組んで参りましょう。

| 取扱い商品                                                                                                                                                                 | 適用画像診断支援サービス                                                                                                                                                                            |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>■ <b>大腸・CT用検査食</b><br/><b>FG-two☆</b><br/>エスビー食品と共同開発。<br/>味とボリュームにこだわった、簡単調理の検査食。</p> <p>■ <b>清浄飲料水</b><br/><b>PROJECT F.</b><br/>難消化性デキストリン<br/>〔食物繊維として〕入り。</p> | <p>■ <b>G.I.Lab株式会社</b><br/>〒105-0052 東京都千代田区神田小3丁目2-1<br/>KIMURA BUILDING 7F<br/>TEL : 03-5203-0981</p> <p>検診に特化。<br/>胃X線を始め、腹部X線、<br/>マンモグラフィー、CT・<br/>MRIなど、多様な画像を<br/>お取り扱いします。</p> |

  

| 薬価基準収載                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <p>処方箋医薬品 注意・医師等の処方箋により使用すること</p> <p>【硫酸バリウム製剤】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>■ 上部消化管X線造影剤</p> <p><b>バリタスター<sup>®</sup>A240散</b><br/><b>硫酸バリウム散 99.5%「FSK」</b></p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>■ 注腸用X線造影剤</p> <p><b>バリトゲン<sup>®</sup>SHD</b><br/><b>エネマスター<sup>®</sup>注腸散</b></p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>■ 消化管X線造影剤</p> <p><b>バリトゲン<sup>®</sup>HD</b><br/><b>バリトゲン<sup>®</sup></b></p> </div> </div> <p>【炭酸水素ナトリウム・酒石酸配合剤】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>■ 胃内有用性肥液除去剤</p> <p><b>バリトゲン<sup>®</sup>消泡内用液 2%</b><br/>(シメチコン内用液)</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>■ 緩下剤</p> <p><b>ファースル<sup>®</sup>錠 2.5mg</b><br/>(ピコスルファートナトリウム錠)</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>■ 注腸用X線造影剤</p> <p><b>バリトゲン<sup>®</sup>デラックス</b><br/><b>ウムブラMD</b></p> <p>■ X線診断二重造影用発泡剤</p> <p><b>バリエース<sup>®</sup>発泡顆粒</b></p> </div> </div> |  |

前処置から画像診断支援まで

人々のすこやかな毎日を願い、  
より適確で  
より安心な診断ができる  
信頼ある製品づくりを。

※ 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等詳細は、添付文書をご参照下さい。

**伏見製薬株式会社**

● 本社／香川県丸亀市中津町1676 TEL 0877-22-7284 FAX 0877-22-6284

● 資料請求先 営業企画部／東京都中野区弥生町2-41-5 TEL 03-5328-7801 FAX 03-5328-7802

仙台営業所／TEL 022-295-5667 東京営業所／TEL 03-5328-7801 名古屋営業所／TEL 052-732-8555

大阪営業所／TEL 06-6160-2431 中国営業所／TEL 082-509-2431 福岡営業所／TEL 092-413-4107

金沢オフィス／TEL 076-255-0282

## 編集後記

対策型検診としての胃内視鏡検診が広まっていくことに合わせて、今年、2016年、日本消化器がん検診学会関東甲信越支部に、内視鏡研修委員会が組織されました。成澤先生に委員長、赤松先生に副委員長、水谷先生に庶務をお願いいたしました。先生方に、御挨拶の原稿を執筆していただき、今号と次号にわたり掲載させていただきます。

2016年の第76回地方会は成澤先生が大会長で、新潟で開かれます。大会長のご挨拶と、開催のご案内を掲載いたしました。プログラム等は、今後ホームページにて、告知して参ります。ザ・ベストイメージングコンテストの告知も掲載させていただきました。通常業務をしながら、写真を選んで応募することのご苦勞は良くわかります。今年も多くの写真が集まると良いなと思います。

2017年の第77回地方会は、鈴木先生が大会長で、横浜で開かれます。大会長のご挨拶と、開催のご案内を掲載いたしました。

2016年の関東甲信越支部超音波研修委員会第5回千葉セミナーのご案内を掲載いたしました。大会長挨拶を掲載いたしました。

時代の変わり目で、対策型胃内視鏡検診の組織を作っていくことは、皆様、ご苦勞が多いと思います。一緒に頑張りましょう。

公益財団法人ちば県民保健予防財団

総合健診センター消化器科

山口 和也

### ■編集委員会■

編集委員長 山口 和也

編集委員 小田 丈二 岡田 義和 神宮字 広明 山本 美穂

石井 崇雄 木村 友子 渡邊 綾子

(非売品)

